

高梁市地域公共交通総合連携計画作成業務委託

業務計画書

平成 21 年 10 月

株式会社バイタルリード

I 業務のフロー

高梁市総合計画

H18年高梁市生活交通対策

調査計画

各種調査・分析及び評価

現況実態調査	アンケート調査	ヒアリング調査	利用状況調査
<ul style="list-style-type: none">・地域概要、主要施設・公共交通の状況・移動の状況・上位計画、関連計画	<ul style="list-style-type: none">・住民アンケート・高校生アンケート・大学生アンケート・観光客アンケート	<ul style="list-style-type: none">・交通事業者・医療機関・商業施設・教育機関・行政関係者	<ul style="list-style-type: none">・バス路線乗降調査

現況の課題抽出

目標・基本方針の検討

計画に位置付ける事業の検討

- ・JR利用環境の向上
- ・広域路線バスの再編(隣接自治体、旧自治体間移動)
- ・地域内公共交通の再編(地域間の平等性、不便地区の解消、通学移動手段、大学生移動手段)
- ・交通結節点環境の向上
- ・公共交通利用促進策
- ・観光振興に向けた公共交通施策

地域公共交通総合連携計画のとりまとめ

総合事業の実施 (H22~H24)

II 業務の内容

1. 現況調査

(1) 地域の概況

地理的特性や人口・集落の状況、高齢化の状況等、公共交通計画の基本となる地域の概要の他、医療機関、商業施設、学校施設、行政機関、観光施設等、公共交通を利用した移動の目的地となる主要施設の配置状況を整理する。人口・集落の状況や各種施設の配置状況については、中国運輸局が開発した地域バス運行計画策定支援ソフト ComPASS（Community-bus Planning Aid Simulation System）での分析が可能なデータベースとして、GIS（地理情報システム）で整理する。

(2) 公共交通やその他の移動サービスの現状

高梁市の主たる生活交通である路線バスをはじめとする各種移動サービスについてもその内容（運行経路、運行頻度、運賃等）と利用者数、行政負担状況を整理する。

(3) 移動の状況

統計資料（国勢調査等）等を整理し、高梁市に関連する移動の状況を把握する。

(4) 上位・関連計画の状況

高梁市総合計画（平成 18 年 3 月）等を示された市の将来像を整理し、まちづくりの方向性や公共交通体系のあり方を検討するための基本的な事項を把握する。さらに、教育関係（学校統合等）、福祉関係の計画についても関連項目を整理し、市の方針を把握する。

2. 利用状況調査

(1) 路線バス等の乗降調査

高梁市に係る全ての路線バスや生活交通について、大まかな既存資料の整理に加えて、必要に応じて乗降調査を実施する。

また、乗降調査の実施にあたっては、OD と同時に以下の項目をヒアリングし（利用者ヒアリング調査）、利用者の詳細なニーズを把握する。

調査内容	<ul style="list-style-type: none">○ 個人属性（性別、年齢層、居住地区）○ 移動の実態（乗車地、降車地、最終目的地（施設等）、利用目的）○ 現状の運行サービスに対する意見○ 自由意見
------	---

3. ヒアリング調査（各種関係機関）

(1) 交通事業者

地域の公共交通を担っている交通事業者（バス、タクシー事業者など）に対し、以下の項目を中心にヒアリング調査を実施する。

調査内容	<ul style="list-style-type: none">・現在の各路線の利用状況・利用者の特徴（居住地区、年齢層など）・利用促進方策（既存の取組、今後の可能性など）・高梁市の公共交通の今後についての考え、アイデア等・その他、意見・要望等
------	--

(2) 商業施設

地域の住民が日常的に利用する商業施設に対し、以下の項目を中心にヒアリング調査を実施する。

調査内容	<ul style="list-style-type: none">・客の来店状況・公共交通利用者の特徴（居住地区、年齢層など）・客が来店によく利用している路線・ダイヤ・施設での平均滞在時間・公共交通との連携（既存の取組、今後の可能性など）・公共交通に関する意見・要望等
------	--

(3) 医療機関

地域の医療を担っている医療機関に対し、以下の項目を中心にヒアリング調査を実施する。

調査内容	<ul style="list-style-type: none">・患者の通院状況・公共交通と別の送迎サービス等の有無、その内容・公共交通利用者の特徴（居住地区、年齢層など）・患者が通院によく利用している路線・ダイヤ・予約システムの有無・患者の平均滞在時間（診療時間）・公共交通との連携（既存の取組、今後の可能性など）・公共交通に関する意見・要望等
------	--

(4) 観光関連主体

高梁市の観光を担う主体（高梁市観光協会等）に対し、以下の項目を中心にヒアリング調査を実施する。

調査内容	<ul style="list-style-type: none">・観光来訪者の状況・観光来訪者の特徴（居住地区、年齢層など）・公共交通との連携（既存の取組、今後の可能性など）・公共交通に関する意見・要望等
------	---

(6) その他（吉備国際大学、行政職員等）

高梁市の公共交通に関連するとともに、状況をよく知る自治体職員（支所、教育・福祉部門）に対し、以下の項目を中心にヒアリング調査を実施する。

調査 内容	<ul style="list-style-type: none">・公共交通利用の状況・利用者の特徴（居住地区、年齢層など）・公共交通に関する意見・要望等
------------------	--

4. アンケート調査

(1) 住民アンケート調査

公共交通の利用は、通勤や通学の他、高齢者等の通院、買物が主体と考えられるが、通勤での公共交通利用に関しては既存の統計資料で概ね把握が可能となるため、本調査では調査のメインターゲットを高齢者に設定し実施する。想定する調査概要は、以下の通りとする。

■調査内容

- ◇個人属性（住所、年齢、性別、職業、自動車の運転免許証の有無、自由に使える自動車保有、世帯内の自動車保有、普段の移動交通手段）
- ◇移動の実態（買物、通院といった目的別の移動目的地、頻度、利用交通手段）
- ◇現状の運行サービスに対する評価（個別サービス項目に対する 5 段階評価）
- ◇公共交通や移動に対する意向（運行経路、目的地、料金、運行頻度等）
- ◇居住する集落の生活のしやすさ（項目毎の生活のしやすさに対する 5 段階評価）
- ◇自由意見

■調査方法

- ◇無作為抽出ではなく、人口の少ない地区からもサンプリング数を確保するために、事前に地域毎への配布部数を検討し、郵送配布・郵送回収方式とする。（可能であれば、自治会を通じて配布・郵送回収方式が望ましい。）
- ◇ 世帯内では、高齢者等のバスを利用する必要がある構成員ができるだけ回答してもらうものとする。
- ◇ 配布数は、2000 部とする。回収率を 50%と仮定して、合計 1000 サンプルを目標とする。

(2) 高校アンケート調査

高梁市内の高校及び高梁市に居住する高校生が通学する近隣自治体の高校を対象に、生徒の通学に関するアンケートを実施することで、主に学生の通学に関するニーズ、課題等を把握する。

調査内容	<ul style="list-style-type: none">・ 個人属性（居住地区、帰宅時刻、世帯内の自動車保有、普段の通学手段）・ 生徒の公共交通や移動に対する意向（航路・バス路線の評価、目的地・時間帯等）・ 保護者の公共交通や移動に対する意向（バス・航路の評価、サービス向上時の利用意向、通学以外の航路・バス路線の必要性・目的地・時間帯）・ 自由意見
調査方法	<ul style="list-style-type: none">・ 市内の高校では2年生全員を、市外の高校では高梁市から通学する2年生の生徒を対象に、学校別の対象者数を調査・ 学校ごとに調査票を配布し、学校に配布回収を依頼

(3) 大学生アンケート調査

高梁市の総人口の1割以上を占め、公共交通の利用者であり、今後のまちづくりの大きな主体となる大学生を対象にアンケートを実施する。調査はWebアンケート調査とし、HPで関係する3つの大学等の学生のみがアクセス可能なアンケートを作成し、全学生と教職員に協力を依頼する。

調査内容	<ul style="list-style-type: none">◇ 個人属性（住所、年齢、性別、所属、運転免許証、自動車保有、普段の移動交通手段等）◇ 移動の実態（通学・通勤、市内買物といった目的別の移動目的地、頻度、利用交通手段）◇ 現状の運行サービスに対する評価（個別サービス項目に対する5段階評価）◇ 公共交通や移動に対する意向（運行経路、目的地、料金、運行頻度等）◇ 今後の交通計画づくりへの参画意向◇ 自由意見
------	---

(4) 観光客アンケート調査

市内の観光スポットへの来訪者を対象として、詳細な観光行動、満足度に関して調査を行う。

調査内容	<ul style="list-style-type: none">◇ 個人属性（住所、年齢、性別、今回の移動手段）◇ 観光の実態（訪問観光スポット、移動手段）◇ 観光と交通サービスに対する評価（個別サービス項目に対する5段階評価）◇ 自由意見
調査方法	<ul style="list-style-type: none">・ 観光地において調査員によるインタビュー調査・ 200部を目標とする

5. 現況の課題抽出

各種調査結果より、以下の視点に沿って高梁市の公共交通に関する課題を抽出し、整理する。

(1) 交通体系に関する課題

- ・既存路線のサービス内容の課題（運行経費、地域間格差、不便地区、住民の活動可能性）
- ・交通結節点の課題

(2) 利用促進に関する課題

- ・情報提供の課題（時刻表、路線図、インターネットでの情報提供 等）
- ・利用環境の課題（バス停、ベンチ、上屋 等）

(3) 観光振興に関する課題

- ・観光客のアクセスの課題
- ・情報発信の課題（プロモーション 等）

6. 目標・基本方針の検討

(1) 計画の基本的な考え方

地域の実情に即した効果的・効率的な公共交通体系を構築するため、高梁市のまちづくりの方針を踏まえた上で、市外への移動と市内各地区から市内拠点への移動、観光の移動の3つに分けて整理する。

(2) 計画の目標と基本方針

上位・関連計画に示された高梁市のまちづくりの方針や、各種調査より浮かび上がった公共交通の課題を踏まえ、高梁市の地域公共交通活性化・再生の目標と、それを達成するための基本方針を設定する。

7. 計画に位置づける事業の検討

連携計画に位置づける事業の検討を行います。現時点で想定される事業は、以下のとおりとなる。

(1) 広域移動サービスの利便性向上

主要幹線を運行する幹線路線バスのうち、行政により赤字補填が行われている路線・系統について、調査結果に基づき、必要に応じて運行改善計画を作成する。計画にあたっては、運行サービスの採算性に注目するとともに、沿線住民の利便性の向上や利用者増加に向けたサービス改善に関しても検討を行う。

また、JR 伯備線との乗り継ぎについてチェックを行い、これらとの連携を強化する。

(2) 地域内移動サービスの検討

地域内移動サービスについては、4 条路線バスや生活福祉バス、デマンド乗合タクシー等の公共交通と、各種乗車助成の考え方の統一を検討するとともに、最適な運行形態（路線あり・路線なし（予約型）、バス・タクシー等）を選定した上で、詳細な運行計画の立案を行う。

地域内移動サービスの検討にあたっては、既存の移動サービスに課題のある複数の地区について、平成 22 年度の実証運行に向けて同時に見直し検討を行う方法に限らず、市として取り組むべき課題に優先順位付けを行い、モデル地区で先行的に住民を巻き込んだ運行計画の策定、導入、試験運行実施する方法についても視野にいれた検討を行う。モデル地区については、周

辺部の公共交通サービス水準が低い、複数の移動サービスが重複し、運行が非効率で行政負担額が大きい地区等を選定する。

平成 22 年度の実証運行モデル地区においては、住民と協働による運行計画策定を行うことで、乗って維持するマイバス意識の醸成を図るとともに、地域の公共交通に関する増やす。

地域意見交換会は、2 回の開催を予定しており、それぞれ以下の内容とする。

第 1 回：地域の課題と移動ニーズを考える

第 2 回：地域公共交通サービスの検討

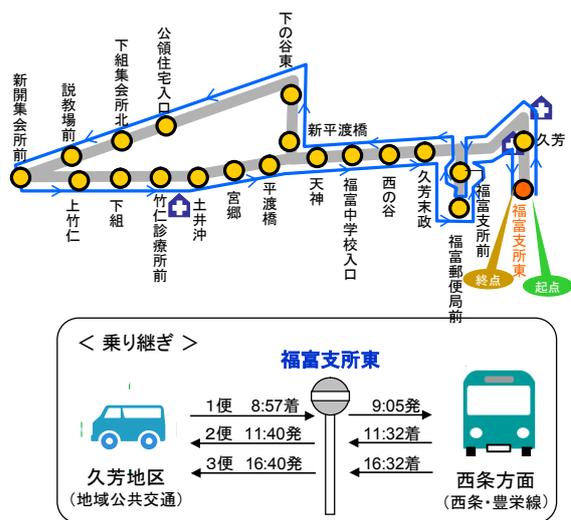


図 地域意見交換会を踏まえた運行計画策定の例 (東広島市福富町)

また、市内中心部に関しては、吉備国際大学学生を中心としたワークショップによって、大学生と市民の双方が利用しやすい公共交通体系について検討を行うものとする。

(3) 交通結節点の環境向上

効果的・効率的な公共交通体系を構築し、利便性を確保する上で、主要な乗り継ぎ拠点となる交通結節点の機能強化は非常に重要である。特に中山間部においては、低頻度で分散的に発生する需要に効率的に対応するため、交通結節点での乗り継ぎは不可欠であり、乗り継ぎ抵抗が少しでも軽減されるよう、機能強化を図ることとする。

具体的には、公共交通全体の利便性向上を図るため、市内の各交通結節点で現状把握調査 (交通結節点カルテ) を実施し、交通結節拠点別の計画を作成する。



図 現状把握調査結果（交通結节点カルテ）の例

(4) 利用促進策の検討

全国的に公共交通利用者が減少傾向にある中、住民を中心に利用促進を図り、公共交通サービスの維持・存続を行う必要がある。高梁市の公共交通利用促進策では、以下の事項が考えられる。

① 情報提供ツールの検討

高梁市の公共交通に関する情報提供は、高梁市HPと備北バスHPにおいて個々の路線の時刻表が整理されている状況にあり、運行経路情報等については、情報提供が不足している状況にある。これらの情報を一元管理し、



▲バスブックの例（松江市）

乗り継ぎ状況等を含め利用者の一連の行動を踏まえた、便利でわかりやすい情報提供ツール（共通時刻表、路線図、インターネットでの検索システム等）の企画について検討を行う。

② MM（モビリティ・マネジメント）の検討

「公共交通の利用促進」と、「公共交通への理解を深め、維持存続の仕組みをつくる」という二つを目的に、MM 施策の推進を検討する。具体的には、イベントの実施や、大学生によるワークショップやトラベルフィードバックプログラム（TFP）の実施、小学校の総合的な学習の時間を活用した地域学習により、公共交通への理解を深め、地域で支える仕組みづくりについて検討を行う。



▲イベントの実施例（山口県）



▲総合的な学習の時間を活用した学習例（山口市）

(5) 観光振興策の検討

高梁市の観光資源を活用した地域づくり戦略において、数多くの資源を活用した観光振興が重要となる。JR等を利用して来訪した観光客のアクセスや周遊のための適切な移動手段を検討することが、不可欠となる。

これら観光スポットを線で結ぶ施策は、観光周遊バスや観光乗合タクシー等で実施されているが、本調査においてサービス内容の再評価を行い、より魅力の高い観光地づくりに寄与する公共交通計画を検討する。

8. 地域公共交通総合連携計画のとりまとめ

(1) 地域公共交通総合連携計画の作成

検討した内容を、地域公共交通総合連携計画の様式で整理し、次年度以降の事業推進に向けた具体的な計画としてとりまとめを行う。とりまとめにあたっては、地域公共交通活性化再生法に定められた項目を踏まえるとともに、図表等を活用し、住民にもわかりやすい計画書として整理する。

(2) 認定申請等に係るその他資料の作成

計画の認定申請や、平成22年度以降の事業費補助申請に必要なその他の資料の作成を支援する。

III 工程計画

検 討 項 目	H21 年度						
	9	10	11	12	1	2	3
1. 調査計画							
2. 各種調査							
2-1. 現況調査							
2-2. アンケート調査							
2-3. 利用実態調査							
2-4. ヒアリング調査							
3. 課題の抽出							
4. 目標、基本方針の検討							
5. 計画に位置づける事業の検討							
6. 計画書、その他資料の作成							
■地域公共交通会議		①		②			③

※ 地域公共交通会議で想定する協議内容

第1回：調査の進め方 等

第2回：各種調査結果、高梁市の課題、事業の方向性 等

第3回：連携計画、事業の詳細、評価、その他申請資料 等